

【共通キャリア・スキルフレームワーク】 に対するiSRFの考え方 ～IPAの発表を踏まえて～

ITスキル研究フォーラム

Copyright 2012 IT Skill Research Forum All rights reserved.

2012/4/6

【スキル標準の理念、目的枠組みは不変】

理念

IT人材の育成と企業の競争力強化

目的

* 情報サービス産業の人材投資の効率化

* IT関連サービスの提供に必要とされるスキルを的確に身に付けた、質の高いプロフェッショナルの効率的な育成

(* ITスキル標準V3 2008 Web掲載の概要編および概説書より)

枠組み

ITSS、UISS、ETSSの3つのスキル標準のフレームワークは変わらず、参照モデルとして2008年に定義された「共通キャリア・スキルフレームワーク」の位置づけも変わっていない。

理念

IT企業の人材戦略、企業戦略に貢献する

目的

IT人材の高度化とIT産業の競争力強化

診断の仕組み

スキル標準の考え方を踏まえ、コンピテンシーも含めてエンジニアの総合力を測る診断「ITSS-DS」、「ETSS-DS」、「UISS-DS」は不変。

共通キャリア・スキルフレームワーク

2008年10月に発表。高度IT人材について、人材像とその保有すべき能力や果たすべき役割の観点から整理したITSS,UISS、ETSS共通の人材育成・評価のための枠組み

今回IPAより提供されたもの

- 1) スキル標準より3つのモデルを定義
タスクモデル、人材モデル、スキルモデル
- 2) 知識体系(BOK)の知識項目例を改訂
- 3) 共通キャリア・スキルフレームワークコンテンツ活用ガイド
- 4) データセットと共通キャリア・スキルフレームワーク活用ツール提供

業界標準として3つの診断「ITSS-DS」「ETSS-DS」「UISS-DS」は不変。

IPAから提供されるテンプレート「共通キャリア・スキルフレームワーク活用ツール」を活用して各社が独自に盛り込んだタスクやスキル要素は「DS」シリーズのカスタマイズ版に取り込むことができる。

